



個票 17 森林整備において発生した材料で工夫した生息環境の多様化

〔森 2(2)③1-1〕

(2011年作成)

配慮の視点	種の多様性への配慮	配慮項目	野生生物の生息・生育環境の保全・創出
配慮事項	空隙の多い環境の保全		
配慮事例	自然石など自然の材料の使用		
内容	<p>●森林整備において発生した材料で工夫した生息環境の多様化</p> <p>【解説】</p> <p>森林整備において、動物の習性を把握したうえで少しの工夫をすることで、小動物の多様な生息環境を作ることができます。整備時に発生した樹木や石を積み上げることで、小動物の生息場所を新たに作ることができます。</p> <p>【具体的な工法・配慮事項】</p> <p>●多孔質の空間作り</p> <p>①伐採木や枝葉、落ち葉などを林内に集積します。小動物や昆虫類の隠れ家や産卵場所などの生息場所として利用されます。</p> <p>②石を一箇所に積み上げることで、石の間にできた空間が小動物や昆虫類の生息場所となります。</p>		
	 <p>伐採した枝の集積</p>  <p>石の積み上げ</p>		
	出典:1		
参考資料	1 「エコパーカー生き物のいる公園づくりー」 亀山章・倉本宣編、ソフトサイエンス社		